



令和4年9月号

見沼花便り

校訓「自分に問う《知性 誠実 健康》」



生徒数 96人(第1学年 21人 第2学年 38人 第3学年 37人 (前月比±0人))
発行 行田市立見沼中学校埼玉県行田市荒木 4892 電話 048-557-2181 さわやか相談室(直通) 電話048-557-3511

「命の大切さ」「逞しく生きることの凄まじさ」

始業式式辞では、7歳で沖縄戦を体験した比嘉尚子さんの「白旗の少女」の一節を朗読しました。

水の流れる音で目が覚めました。辺りはすっかり暗くなっていました。でも、まもなくお月様が顔を出すはず。崖の端の空がうっすら明るくなっていましたから。「近くに川がある。よかった、水が飲める。」私は水の音を頼りにフラフラとする足を引きずりながら歩いて行きました。幸いどこも骨は折っていないようでした。次第に水の音が近くなります。「ほうら、やっぱり川だ。」しばらく行ったところに、谷川が流れていました。しかし、これまでの経験からいきなりその場に足を運ぶようなことはしませんでした。私を見知っている兵隊さんがいて、また、追い回されては、それこそ最後だからです。

私は、少し離れた河原の岩陰に身をひそめ、しばらく様子を見ることにしました。そこからは、兵隊さんの姿は一人も見えませんでした。でも、川のふちには、大勢の人が腹ばいになって水を飲んでいました。私はみんなが飲み終わるまで待つことにしました。というのは、「こんなに大勢の人がいっぺんに飲んでいるのでは、きっと川が濁っていて飲めそうにないな。それなら、しばらく待ってきれいな水を飲んだ方がいい。」と思ったからです。「きれいな水を飲んだのは、いつだったかな？」私は、順番を待ちながら考えました。姉たちとはぐれてから、食べたものといったら、死んだ兵隊さんの雑のうからいただいた金平糖とかんづめ、乾パンの他には、生のいも、ニンジンくらいなもので、喉が渴いた時は、ニイニイ(兄)から教わった甘い汁の出る草か岩のくぼみにたまった雨水の澄んでいるところをより分けて飲んでいたので。ところが、いつまで待っていても誰も顔をあげようとしません。「いくら喉が渴いたからって、ずいぶんいっぱい飲むのね。」待ちきれなくなって川の近くに近寄ろうとした時です。腹ばいになっていた大勢の人たちの中の一人が突然顔を上げて私の方を見たのです。その人は、髪をぼさぼさにしたおばあさんで、その顔を見たとき、私は、「わっ！」と言って思わず二、三步飛びのきました。その顔といったら……。片目から血が流れ、おを伝わって胸まで真っ赤に染まっていたのです。でも、おばあさんは、私に向かって手を挙げるわけでもなく、声をかけてくるでもなく、ぐうっと頭を持ちあげたと見るまに、「ガクッと川の中に頭から突っこんで、そのまま動かなくなりました。この時になって、私はやっと気がつきました。それまで腹ばいになって水を飲んでるとばかり思っていた人たちは、みんな死んでいるに違いない。きっとそうだ。私は、おそるおそる、そして、ゆっくりと川のふちに近寄ってみました。ちょうどお月様が顔を出した所だったので、足下もよく見えます。何しろ、崖を落ちたときに運動靴をなくしてしまったので、裸足でしたから、気をつけないとケガをするので、今までのようにスイスイとは歩けないのです。思ったとおりでした。離れた所から様子を見た時には気付かなかった兵隊さんもいました。おじいさんもいました。子どもをおんぶしたままのお母さんがいました。子どももその背中で死んでいました。川の中ほどを、流れのあちらこちらにある石にさまたげられながら、ゆっくりと川下に流されていく死体もありました。全部でおよそ百人ほどの人たちだったのでしょうか。その人たちの中にヨシ子姉さんがよくやっていた髪を三つ編みにした若い女の人がいまいました。「もしやヨシ子姉さんでは？」私は、駆け寄ってその顔をのぞき込みました。ヨシ子姉さんではありませんでした。もう、私にはその川の水は飲めません。それなら川上に行ってみよう。私は大勢の人が死んでいる後ろを通って、川上に向かって歩き出しました。その時のことをなんと表現したらいいのでしょうか。地獄絵図……。そんな言葉でしか、言い表せないような光景でした。見る限り人がいるのに、人声一つしません。もうみんな死んでいるのですから、声が聞こえるはずがありませんが、それにしても静かでした。聞こえるのは、谷川の水の流れる音と、たった一人歩いている私の足音です。不思議というか奇妙というか、ピタピタと音がする自分の足音なのに「ああ、生きている人がいる。」と錯覚し感動さえ覚えるほどでした。しばらく行くと死体も絶えて、きれいな水が流れていました。「さあ、飲もう！」私は、身をかがめて流れの中に手を入れた瞬間ギョッとしました。水面にも、水中にも、そして、底の方にも、無数のうじ虫が、うごめいてうたからでした。「うわっ、気持ちが悪いなあ……。」私は、手を引っ込めて、しばらくうじ虫を見ていました。私の近くの水面は、どこを見渡しても、うじ虫だらけなのです。でも、喉はもうカラカラです。それに、ここで飲んでおかないと、いつまた水か飲めるか見当もつきません。私は、思いきって両手を流れに入れ、そっとうじ虫をどかして、水をすくい上げて飲みました。「おいしい！」思わず声をあげました。もっと飲みたくなって、地面にはいつくばりました。そして、手でうじ虫をよけながら、流れに口を突っ込んで飲み続けました。すると、あごの下や口のまわりがムズムズするので、手で払うと、うじ虫が四、五匹水面に落ちました。どうやら、はいつくばっていたのでひじのあたりから登ってきたうじ虫が、あごや口のまわりまで、這い上がってきたらしいのです。でも、本当に「もういらない」というくらい水を飲んだのは久しぶりでした。

文責 栗原 利夫

令和4年 7月のおもな活動

青大豆の栽培



体育祭・団会議



体育授業



授業参観・保護者会



家庭教育学級



終業式



8・9・10月行事予定

日	曜	行 事
8/29	月	始業式 避難訓練
30	火	
31	水	給食開始 月末統計
9/1	木	
2	金	東部地区学力検査(3年)
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	PTA 校外指導
7	水	生徒会専門委員会
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	新入大会代表者会議
14	水	体育祭予行 学力向上学級
15	木	
16	金	
17	土	体育祭
18	日	体育祭予備日①
19	月	敬老の日
20	火	北埼玉地区新人体育大会・陸上
21	水	
22	木	体育祭振替休業日
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	北埼玉地区新人体育大会・陸上予備日
27	火	北埼玉地区新人体育大会1日目
28	水	北埼玉地区新人体育大会2日目
29	木	北埼玉地区新人体育大会3日目
30	金	北埼玉地区新人体育大会予備日 PTA評議員会 安全点検・月末統計
10/1	土	
2	日	部活動停止
3	月	部活動停止 北埼玉地区新人体育大会予備日
4	火	部活動停止 PTA 校外指導 学力向上学級
5	水	部活動停止 学力向上学級
6	木	中間テスト
7	金	中間テスト
8	土	北埼玉地区新人体育大会・体操
9	日	
10	月	スポーツの日
11	火	
12	水	生徒会専門委員会
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	後期時間割開始 北埼玉駅伝大会